

# 第15回

## 台東区子供歴史・文化検定

### 問題用紙（小学生用）

- 解答時間は45分間です。
- この問題用紙は指示があるまで開かないでください。
- 解答は、解答用紙（マークシート）の正解だと思う○の中を正確に塗りつぶしてください。

《 解答用紙（マークシート）記入・マーク上の注意 》

- 1 記入欄・マーク欄以外には何も書かないでください。
- 2 えんぴつで、しっかり濃く塗りつぶしてください。
- 3 間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

学校名	学年	クラス	名前
小学校	年	組	

台東区教育委員会



(問題は次のページから始まります。)

問1.

1603（慶長8）年に徳川家康が開いたのは、何幕府でしょうか。

- ア. 鎌倉幕府
- イ. 室町幕府
- ウ. 安土幕府
- エ. 江戸幕府

問2.

明治時代以降の台東区に関する説明文です。正しいものはどれでしょうか。

- ア. 浅草六区と呼ばれる一帯は、明治時代以降に芝居小屋、劇場、映画館などが建つ娯楽施設を集めた区域になりましたが、実は浅草に一区から五区などはなく、「六区」という表現は当時流行していたジャズやロックのロックに当て字して、繁華街らしい表現にしたものです。
- イ. 現在、高層の建物は見慣れたものになりましたが、明治時代に浅草には凌雲閣という塔と呼べる建物が建てられました。これは三十五階とも呼ばれ、大変に人気を呼びました。
- ウ. 大正時代に起こった大地震（関東大震災）は多くの死傷者や家屋の倒壊といった被害を生じさせましたが、その主な要因に地震が起こったのが昼食の時間帯で、カマド、七輪、火鉢、ガスコンロといったものの火が燃え広がったことが挙げられます。
- エ. 台東区は下谷区と浅草区とが合併して生まれたものですが、合併が行われたのは明治時代のことでした。

問3.

1842（天保13）年2月、浅草なかもらざに中村座いちむらざと市村座いてんが移転してきて、町という芝居町しばいまちができました。翌年よくねんには、森田座ひかの控え櫓やぐら（有名な座きゆうえんが休演するときかぎに限って公演こうえんが許ゆるされた座）である河原崎座かわらぎぎも移ってきて、いわゆる三座さんざが生まれます。これに、結城座ゆうきざなどの操り人形あやつの座も加わり、浅草北部は大いに栄えました。に入る言葉は何でしょうか。

- ア. 牛若うしわか
- イ. 猿若ざるわか
- ウ. 寅若とらわか
- エ. 鳥若とりわか

問4.

太平洋戦争たいへいようせんそうにおいて、本土空襲くうしゅうの本格化ほんかくかが予想された戦争末期、空襲を避けるため多くの子どもたちが親元を離れた生活をしいられました。

1944（昭和19）年3月には、親類縁者しんるいえんじゃなどを頼たよって地方いじゅうに移住させるようになります。そして、8月にはさらに、親類縁者を頼れない児童を学校単位で地方へ移すことが始まりました。これを何と呼ぶでしょうか。

- ア. 学童疎開がくどうそかい
- イ. 学童避難がくどうひなん
- ウ. 学校疎遠がっこうそえん
- エ. 学校退避がっこうたいひ

問5.

上野公園を散策していたところ、正岡子規記念球場の南側に5メートルほどの高さの丘がありました。上にのぼる石段の脇に説明板があり、「埴輪の破片などが出土し、約千五百年前の前方後円形式の古墳と考えられている。」と書いてありました。かつてこの地域を支配していた豪族のお墓のようです。さて、この古墳の名前は何かというのでしょうか。

- ア. 鳥越古墳
- イ. 摺鉢山古墳
- ウ. 石浜城館跡
- エ. 都立谷中霊園

問6.

明治時代になると新政府は諸外国にあるような公園を設置しようとしてきました。1873（明治6）年、日本で初めて5カ所が公園指定を受けましたが、それに含まれない公園はどれでしょうか。

- ア. 浅草公園
- イ. 井の頭公園
- ウ. 芝公園
- エ. 飛鳥山公園

問7.

上野桜木町遺跡では古代（飛鳥・奈良・平安時代）の貝塚からハマグリ<sup>から</sup>の殻がたくさん見つかりました。このことから当時の様子として考えられることはどれでしょうか。

- ア. このあたりは海に近く、漁<sup>りょう</sup>がおこなわれていた。
- イ. 上野の台地にある上野桜木町は隅田川<sup>すみだがわ</sup>の川底だった。
- ウ. この台地は1000メートル級の山の上だった。
- エ. このあたりにはまだ人が住んでいなかった。

問8.

古墳時代<sup>こふん</sup>に上野台周辺<sup>うえのだい</sup>に住んでいた人は、どのような家に住んでいたでしょう。

- ア. 竪穴住居<sup>たてあなじゆうきょ</sup>
- イ. 長屋<sup>ながや</sup>
- ウ. 文化住宅<sup>じゅうたく</sup>
- エ. アパートメントハウス

問9.

第二次世界大戦後、戦争に行っていた人や国外で生活していた人が戻ってきたために、国内には人口が増えて、食べるものや着るものに困る人が多くいました。そうした混乱から露店が集まるようになり、商店街として発展した場所はどこでしょうか。

- ア. 仲見世
- イ. 佐竹商店街
- ウ. 浅草広小路
- エ. アメ横

問10.

次の文章は江戸時代の江戸に住む人々の生活を説明したものです。間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 江戸時代の町人らは裏通りの長屋に住むのが普通でした。それぞれの家には便所（トイレ）や井戸はなく、屋外で共同使用するものがありました。
- イ. 江戸時代に流行した「庚申信仰」とは、庚申の日に夜通し起きていると長生きできるというもので、各所に庚申塔という石造物がつけられました。
- ウ. 江戸時代、飲料水の確保は欠かせないことでした。その中で玉川上水は富士山から四谷大木戸まで水を引いてきたものでした。
- エ. 江戸時代の中期から後期にかけて、ペットとしてカナリヤや鶯を飼って、声の美しさを楽しむことが流行しました。

問11.

20年近くかけた工事の末、1930（昭和5）年に荒川放水路が完成しました。現在は荒川と呼ばれています。さてこの大工事は主にどのような理由から行われたのでしょうか。

- ア. 明治時代に東京がたびたび洪水に見舞われたため。
- イ. 東京の田んぼがいつも水不足だったため。
- ウ. ポート競技の普及が急がれたため。
- エ. 都民が花見を楽しめるように土手に桜を植えるため。

問12.

江戸時代の中期以降、しばしば短い期間に集中的に、ある特定の神や仏をおまつりし、参詣することが流行しました。台東区内でも、太郎稲荷や西町太郎稲荷が流行します。このような神仏をなんというのでしょうか。

- ア. 疫病神
- イ. 参詣神
- ウ. 貧乏神
- エ. 流行神

問13.

江戸時代から明治時代にかけて、現在の新聞や雑誌などにあたる大衆向けの印刷物が売られていました。人通りの多い場所で売られ、読売とも呼ばれました。噂話を扱っているということで、違法な摺り物として禁じられていましたが、大衆の求めに応じて出版され続けました。その多くは木版の一枚刷でしたが、名前の由来には、粘土を固めて文字を彫り、瓦のように焼いたものを原版にして摺った物という意味もあります。この摺り物のことを何というのでしょうか。

- ア. 新聞
- イ. 雑誌
- ウ. 瓦版
- エ. 官報

問14.

江戸にはあるものを鳴らして時刻を知らせるシステムがあり、それは□と呼ばれていました。□に入る言葉はどれでしょうか。

- ア. 時の鐘
- イ. 時の笛
- ウ. 時のサイレン
- エ. 時の鈴

問15.

江戸時代ではいろいろなものがリサイクルされました。江戸時代のリサイクルについて間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 箒ほうき売りは古い箒を下取りして、縄なわやたわしにつくり直して売った。
- イ. 古傘ふるがさ買いが買い集めた古傘は、傘の骨ほねと油紙に分けられて再利用された。
- ウ. カマドの灰はいは灰買いに買い取られ、肥料ひりょうや染め物そに使われた。
- エ. 段ボールは長屋の大家さんが取しゅうじゅう集し、売ったお金をためて皆で花見をした。

問16.

台東区内では伝統工芸品でんとうこうげいひんが数多く作られています。次の中で伝統工芸品に当てはまらないものが一つあります。それはどれでしょうか。

- ア. 江戸つまみえど簪かんざし
- イ. 江戸切子きりこ
- ウ. 東京仏壇ぶつだん
- エ. ペットボトル

問17.

下の写真は、区内在住の職人がつくった工芸品です。この製品の歴史は古く、縄文時代の遺跡からも見つかっています。今では髪の毛をすく（とかす）のによく使われているこの製品の名前は何かでしょうか。

ア. ガラスペン

イ. 襖引手

ウ. 房紐

エ. つげ櫛



問18.

台東区内には地域によって産業、町並みに特徴があるといえます。そうした説明文に関して間違っているものはどれでしょうか。

ア. 御徒町周辺 → ここには宝石や貴金属を扱う、宝飾を中心とした卸の店が多く見られます。

イ. 浅草橋周辺 → ここには玩具・人形・文具などを扱う商店が多く見られます。

ウ. かつば橋道具街 → 名前の由来ともなった、雨合羽（レインコート）や傘など、雨具に関する道具を中心とした商店街になっています。

エ. 田原町や稲荷町 → この辺にはお寺が多かったことから、仏壇やお線香などの商品を扱う店が多く見られます。

問19.

1952（昭和27）年、戦後の復興が進むと、新しい乗り物として、道路の上にはられた架線（電線）から電力の供給を受けて走るバスが開業しました。このバスは、線路を敷く必要がなく、路線バスより大きくたくさんの方が乗れ、燃料に石油を使わないですむという長所がありましたが、小回りが苦手な風雪に弱く、1968（昭和43）年に廃止されてしまいました。このバスは、何と呼ばれたのでしょうか。

- ア. エレクトリカルバス
- イ. トロリーバス
- ウ. 市バス
- エ. コントラバス

問20.

1885（明治18）年、隅田川を上り下りする小型の蒸気船が登場しました。1区間の料金にちなんで愛称で呼ばれたこの船は、戦争が始まるとともにしだいに廃止されてしまいましたが、今では隅田川を水上バスが運航し、たくさんの観光客に親しまれています。さて、この船は何と呼ばれたのでしょうか。

- ア. 一ポンド蒸気
- イ. 一円蒸気
- ウ. 一ドル蒸気
- エ. 一銭蒸気

問2 1.

明治時代に浅草公園地が整理されました。なかでも浅草六区は明治の中頃より興行街として発展し多くの人々が訪れるようになりました。さて、次のものは明治時代に浅草につくられ人気を博したものですが、浅草とはあまり関係が無いものの一つがあります。それはどれでしょうか。

- ア. ボードウィン博士像
- イ. 映画館
- ウ. 凌雲閣
- エ. 浅草富士（富士山縦覧場）

問2 2.

江戸時代、江戸の水上交通が発達した主な理由とは次のうちどれでしょうか。

- ア. 歩くのが大変だったため。
- イ. 一度に荷物をたくさん運べたため。
- ウ. 道路がなかったため。
- エ. 舟が楽しかったため。

問2 3.

門前町とはどのような場所でしょうか。

- ア. 寺の門前で、お祈りをするための場所。
- イ. 寺の門前で、勉強をするための場所。
- ウ. 寺の門前で、寺院に参拝する人々に宿や休憩の場、飲食などを提供するための場所。
- エ. 寺の門前で、都市の防衛をするための場所。

問24.

「七福神詣しちふくじんもで」はお正月しんごうに七つの神様をめぐり1年の福德を願う信仰で、区内には谷中七福神やなか、浅草名所七福神などころ、下谷七福神したやなどがあります。七福神とは□だいこくてん・大黒天びしゃもんてん・毘沙門天べんざいてん・弁財天ふくろくじゆ・福祿寿ほてい・布袋じゆろうじん・寿老人のことで、さて、□に入る神様は次のうちどれでしょうか。

- ア. 恵比須えびす
- イ. 目黒不動尊めぐろふどうそん
- ウ. とげぬき地蔵尊じぞうそん
- エ. 雷神らいじん

問25.

浅草寺では、毎年7月9日から10日に参拝さんぱいすれば4万6000日間参拝すると同じご利益りやくがあるとされる四万六千日しまんろくせんにちという行事が行われます。この2日間には、浅草寺から何かの災わざわいを除けるためのお札よが出され、人々はこの札ふだをもって家に持ち帰ります。では、このお札は何による災わざわいを除けるためのお札でしょうか。

- ア. コロナウィルス
- イ. 地震じしん
- ウ. 不合格ふごうかく
- エ. 雷かみなり

問26.

年末の風物詩、酉の市は、元は農具の市でしたが、縁起物としてあるものが売られるようになりました。それは、ある動物の手に似ていることから名づけられ、今ではおかめの面や小判などたくさんの飾りがついています。それは、平安時代には武具としても使用されていましたが、竹で作られたものは、庭の落ち葉などをかき集める道具として使用されたことから、これが転じて福や徳をかき集める縁起物として売られるようになりました。この縁起物は何でしょうか。

- ア. すき
- イ. くわ
- ウ. 熊手
- エ. かま

問27.

武士の間で盛んであった流鏝馬は一時期、途絶えていましたが、1983（昭和58）年より観光行事として復活し、毎年4月に隅田公園で行われています。流鏝馬とはある物に乗って、的を矢で射る行事です。さて、何に乗って行うのでしょうか。

- ア. 牛
- イ. 馬
- ウ. 人力車
- エ. 舟

問28.

立春の前日の節分では、豆をまいて災難を除ける風習があります。この風習はどの時代から始まったのでしょうか。

- ア. 室町時代
- イ. 昭和時代
- ウ. 平成時代
- エ. 令和時代

問29.

毎年正月に、報恩寺では「まないた開き」という、手を触れずに長い箸と包丁で魚を料理する儀式が行われています。さて、このときに用いられる魚とは何でしょうか。

- ア. クジラ
- イ. タコ
- ウ. シラス
- エ. コイ

問30.

正月のしめ飾りなどを焼く行事で、鳥越神社で行われるものは一般に何と呼ばれているのでしょうか。

- ア. とんど焼き
- イ. ぼうぼう焼き
- ウ. もんじゃ焼き
- エ. じゃんじゃん焼き

問3 1.

台東区内には古いお寺や神社が多く、それらの中には貴重な建物や多くの文化財や天然記念物などが保存されています。次のうち、台東区内に存在しない文化財はどれでしょうか。

- ア. 日本聖公会浅草聖ヨハネ教会の建物
- イ. 谷中にある玉林寺のシイの木
- ウ. 下谷にある小野照崎神社の富士塚
- エ. 世界最古の木造建築といわれる法隆寺の五重塔

問3 2.

地元の伝承の1つに、浅草寺の本尊(観音像)は隅田川から陸に引き上げられたといい、のちにその引き上げ場所には馬頭観音を祀るお堂が建てられました。近くにはこのお堂と同じ名前の橋も架かっています。また、同じ名前のつくドジョウ料理のお店もあります。江戸弁かもしれませんが、古くは「こまんどう」と呼ぶ人も多くいました。さて、このお堂の名前は次のうちどれでしょうか。

- ア. 言問堂
- イ. 駒形堂
- ウ. 厩堂
- エ. 護摩堂

問33.

待乳山聖天まつちやましようてんのシンボルは大根と巾着きんちやくですが、それぞれのシンボルが表しているものの組み合わせとして、正しいものはどれでしょうか。

- |  |                                    |
|--|------------------------------------|
| ア. 大根 <small>びよう</small> －美容                                   | 巾着 <small>がくぎょうじょうじゆ</small> －学業成就 |
| イ. 大根 <small>けんこうぞうしん</small> －健康増進・一家和合 <small>いっかわごう</small> | 巾着 <small>しょうばいはんじょう</small> －商売繁盛 |
| ウ. 大根－商売繁盛   | 巾着－学業成就                            |
| エ. 大根－学業成就   | 巾着－商売繁盛                            |

問34.

a～dはすべてある人物の説明です。この人物は誰でしょうか。

- 佐賀県に生まれ、長崎ながさきでシーボルトに学び、現在の台東1丁目しょうせんどうで象先堂という塾じゆくを開き、多くの塾生を養成しました。
- 江戸時代えどに流行した天然痘てんねんどうの予防のため、種痘しゆどうというワクチンの接種せっしゆを実施しました。
- 神田岩本町付近に種痘所を設置しました。これはのちに西洋医学所と名前を改め、明治時代には東京大学医学部はってんへと発展しました。
- この人物はかの墓やなかは谷中てんりゅういんの天竜院にあります。

- 横山よこやま大観たいかん
- 手塚てづか治おさむ
- 伊東いとう玄朴げんぼく
- 平賀ひらが源内げんない

問35.

江戸時代後期の本草学者で、1786（天明6）年に下谷三枚橋（上野6丁目）で生まれた幕府の下級役人。小野蘭山の晩年の弟子で、特に植物の写生に優れていました。『武江産物志』の作者で、代表作である『本草図譜』は、92冊1900品目あまりの動植物が描かれた図鑑です。1842（天保13）年に57歳で亡くなり、寿2丁目の永見寺に墓があります。この人物は誰でしょうか。

- ア. 山田耕筰
- イ. 岩崎灌園
- ウ. 朝倉文夫
- エ. ロバート・フォーチュン

問36.

明治～大正時代の画家で、鹿児島に生まれ、はじめ法学を志してフランスに渡りましたが、途中で画家に転向しました。帰国後、東京美術学校の西洋画科の教授として、多くの洋画家を育てました。新しい近代日本洋画を確立し、貴族院議員や帝国美術院長なども歴任しています。1928（昭和3）年には、遺産の一部を美術の奨励に役立てるようにとの遺言によって、上野にその名字をつけた記念館が建てられ、2002（平成14）年には登録有形文化財に登録されました。この人物は誰でしょうか。

- ア. 瀧廉太郎
- イ. 下村観山
- ウ. 黒田清輝
- エ. 平櫛田中

問37.

2023（令和5）年に生誕100周年を迎えたこの人物は、昭和時代を代表する作家で、浅草に生まれました。太平洋戦争を経験し、戦後は台東区役所にも勤務しました。作品の多くがテレビ番組や映画にもなり、『鬼平犯科帳』や『剣客商売』などはよく知られ、何より台東区生涯学習センター1階には、この人物の「記念文庫」が設けられています。さて、この人物とは誰でしょうか。

- ア. 島崎藤村
- イ. 久保田万太郎
- ウ. 森鷗外
- エ. 池波正太郎

問38.

「泰平の眠りをさます上喜撰（蒸気船）たった四杯（隻）で夜も眠れず」これは1853（嘉永6）年に黒船4隻（四杯）が来た時、上喜撰というお茶になぞらえて読まれた狂歌です。この時に来た黒船の司令官は誰でしょうか。

- ア. ペリー
- イ. ロッシュ
- ウ. パークス
- エ. グローニン

問39.

東京には不動明王<sup>ふどうみょうおう</sup>の目の色によって、目黒不動などと呼ばれるものがあり、それが全部で5色あります。このうち、台東区三ノ輪の永久寺<sup>えいきゅうじ</sup>のものは何と呼ばれるものでしょうか。

- ア. 目赤不動
- イ. 目黄不動
- ウ. 目青不動
- エ. 目金不動

問40.

江戸時代後期を代表する浮世絵師として知られ、「富嶽三十六景」や「富嶽百景」<sup>ひゃくけい</sup>の作品を残した人は誰でしょうか。

- ア. 歌川広重<sup>うたがわひろしげ</sup>
- イ. 葛飾北斎<sup>かつしかほくさい</sup>
- ウ. 勝川春章<sup>かつかわしゅんしょう</sup>
- エ. 歌川国芳<sup>うたがわくによし</sup>



問4 1.

江戸時代に正確な日本地図をつくった伊能忠敬について、間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 地図についての勉強は、50歳を過ぎてから始めた。
- イ. 伊能忠敬は飛行機を使って日本全国を測量した。
- ウ. 墓は台東区内の源空寺にある。
- エ. 伊能忠敬の手がけた大日本沿海輿地全図は、高橋景保により完成された。

問4 2.

道路上の最初の木製信号機は1919（大正8）年に上野松坂屋前の下谷（上野）広小路交差点に設置されました。この信号機には標識板が柱につけられ、それを手動で回して車の進行をコントロールしていました。その標識板には何と書かれていたのでしょうか。

- ア. 「トマレ」と「ススメ」
- イ. 「ストップ」と「ゴーゴー」
- ウ. 「ダメダメ」と「イケイケ」
- エ. 「ウゴクナ」と「ヨッシャ」

問43.

上野公園は、日本最初の公園として、1876（明治9）年に開園しました。開園の式典後のレセプションの会場として依頼されたのが、岩倉具視と知り合いであった西洋式レストランで、この年の4月に上野公園内にオープンし、現在でもその地で営業を続けています。この店は、次のうちどれでしょうか。

- ア. ドトールコーヒー
- イ. 精養軒
- ウ. スターバックスコーヒー
- エ. 東天紅

問44.

不忍池は、江戸幕府ができたころ、琵琶湖に見立てて整備されましたが、1884（明治17）年に競馬場を建設するため、周囲がだ円形にうめたてられました。この2kmほどの遊歩道で囲まれた不忍池は、レースを行うにはちょうど良い場所となっていたため、さまざまな種類のレースが行われました。それでは、次の中で、明治期に不忍池で行われなかったレースはどれでしょうか。

- ア. 自動車レース
- イ. オートバイレース
- ウ. 自転車レース
- エ. 電車レース

問45.

上野公園では毎年春になるとさまざまな種類の桜が花を咲かせ、たくさんの花見客でにぎわいます。その中でも日本で一番多く植えられ、一番有名な桜の名前は、上野の博物館に勤めていた藤野寄命によって名づけられました。この桜は江戸時代末期に江戸近郊の染井村で作り出されたといわれ、当時は正式な名前がなく、吉野桜などと呼ばれていました。この桜の名前は何でしょうか。

- ア. ソメイヨシノ
- イ. オオシマザクラ
- ウ. ウコン
- エ. アマノガワ

問46.

東京美術学校と東京音楽学校はのちに統合されましたが、現在は何という大学になっているのでしょうか。

- ア. 上野学園大学
- イ. 日本大学
- ウ. 東京藝術大学
- エ. 東京学芸大学

問47.

この建物はアトリエと自宅を兼ねたもので、ここで「墓守」や「吊された猫」といった作品が作られました。『台東区 歴史・文化テキスト』の「メモ」の頁に掲載されている作品「たま」もこの建物に所蔵されています。さて、この建物とは次のうちどれでしょうか。

- ア. 旧岩崎家住宅
- イ. 朝倉彫塑館
- ウ. 一円庵
- エ. 横山大観記念館



問48.

この建物は上野にあり、2016（平成28）年に世界文化遺産に登録されました。ここは実業家の松方幸次郎氏が集めた西洋美術作品を展示するために建てられました。それでは、この建物とはどれでしょうか。

- ア. 旧東京音楽学校奏楽堂
- イ. 国立西洋美術館本館
- ウ. 旧東京皇室博物館（東京国立博物館本館）
- エ. 表慶館

問49.

浅草寺の<sup>かみなりもん</sup>雷門についての説明として、正しいものは次のうちどれでしょうか。

- ア. 浅草寺の<sup>そうもん</sup>総門とされ、正式には「<sup>はんじょう</sup>商売繁盛門」という。
- イ. 門の<sup>うら</sup>裏側（北側）にはパンダのランランとカンカンがまつられている。
- ウ. 江戸初期には「招き猫」と<sup>か</sup>描かれた<sup>ちようちん</sup>提灯がつるされていた。
- エ. 現在の門は、1960（昭和35）年に<sup>さいけん</sup>再建されたものである。

問50.

明治時代の女流作家です。代表作に『たけくらべ』『にごりえ』などがあり、24歳の若さでこの世を去ったこの作家は、だれでしょうか。

- ア. <sup>もりおうがい</sup>森鷗外
- イ. <sup>ひぐちいちよう</sup>樋口一葉
- ウ. <sup>こうだるはん</sup>幸田露伴
- エ. <sup>しまぎとうそん</sup>島崎藤村



